

第9回 西蒲区自治協議会 議事概要

日時：令和7年1月30日（木）

午後1時30分～午後3時00分

場所：巻地区公民館 3階 小ホール

<p>事務局 (藤田補佐)</p>	<p>皆さまお疲れさまです。ただ今から、令和6年度第9回西蒲区自治協議会を開催します。</p> <p>初めに本日の会議資料の確認をお願いします。</p> <p>事前に送付した資料として、資料1-1から1-3、各部会の会議概要。資料2、にしかんライフフェス田事業評価書（案）。参考資料として、「ふうせん渦リンピック」のチラシ。渡辺忠矢委員の西蒲区の課題、発言内容。保健福祉部会の提案事業、支え合いの大切さを広める標語の受賞作品一覧表。「議会報告会」のチラシ。なお、「議会報告会」のチラシについては後ほどご覧ください。</p> <p>以上が事前に送付させていただいた資料となります。</p> <p>続いて、本日、机上にお配りした資料として、本日の次第。資料1-4、広報部会の会議概要。参考資料として、令和6年度新潟市表彰について。こちらは表彰者の参考として、後ほどご覧ください。</p> <p>最後に、委員の皆さまのみ、参考資料として、自治協議会提案事業「集まれ!地域のイベント自慢大会」の参加動員についてをお配りしています。</p> <p>資料は以上となります。不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それではこれ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例第9条の規定により、吉田会長から議長として進行をお願いします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>皆さまお疲れさまです。いよいよ第9期の自治協議会も、残すところあと3回となりました。自治協のあり方など、皆さまからご意見をいただき、次期につなげていければと思っています。</p> <p>今日は、議事が「各部会の状況について」となっていますし、各部会で事業をされる予定になっておりますが、なかなか参加者が伸び悩んでいるという現状ですので、もし可能であれば、お誘い合わせのうえ参加していただければと思っています。</p> <p>それでは本日もよろしくをお願いします。議事を進めてまいります。</p> <p>初めに、本日の委員の出席状況と傍聴者について、事務局から報告をお願いします。</p>
<p>事務局 (藤田補佐)</p>	<p>委員の出席状況についてご報告します。委員29名のうち、本日の出席者は26名であり、過半数の出席を確認しております。</p> <p>従いまして、新潟市区自治協議会条例第9条の会議の運営規定を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、傍聴については1名。報道はいらしていません。</p> <p>事務局で写真撮影ならびに録音をさせていただきますのでご了承をお願いします。</p>

<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>それでは議事に入ります。議事(1)「各部会の状況について」です。 各部長は前回の部会の状況について総務部会、保健福祉部会、まちづくり・産業部会、広報部会の順に説明者席で報告をお願いします。 それでは初めに、総務部会古島部会長、お願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>総務部会、古島です。 先月行いました、第9回総務部会では、2月に実施予定の減災に関する事業「リアル避難所体験」の、当日の役割分担及び全体プログラムについて確認と、第10期への引継書の作成と、「学びと体験でつながろうにしかんライフフェス田」の事業評価について協議を行いました。 「リアル避難所体験」の当日の役割分担については、前年度実施した提案事業の役割分担をベースとして、部会のメンバーと防災士で協力して運営していくこととしました。 全体プログラムについては、日本防災士会・新潟県支部に委託をする部分で、まだ詳細が未確定な部分があったので、今日の部会にて詳しく内容を確認する予定です。 第10期への引継書の作成については、スケジュールについて確認し、引継書に記載する内容について協議を行いました。 協議の結果、事務局が作成した案に、2月に実施予定の「リアル避難所体験」の内容を追加し、完成をさせることとしました。 「学びと体験でつながろうにしかんライフフェス田」の事業評価については、内容の協議を行い、事務局案のとおりとしました。 参考ですが、現在「リアル避難所体験」には約110名の方から申し込みをいただいております。中には福島県から参加される方がいるという報告を受けております。 引き続き、お知り合いの方がおられましたら、事務局にお電話いただいて、まだまだ席がございますので、周知にご協力をよろしくお願いします。総務部会からは以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、なにかご意見・ご質問はありますか。 よろしいでしょうか。では、今日の部会でまた詳細を詰めていただきますよう、よろしくお願いします。 続きまして、保健福祉部会岩崎部会長、お願いします。</p>
<p>(岩崎委員)</p>	<p>保健福祉部会、岩崎です。 12月に開催しました第9回保健福祉部会では、令和6年度区自治協議会提案事業と、第10期への引継書について協議しました。 提案事業については、支え合いの大切さを広める標語募集事業の受賞作品の最終選考を行い、最優秀賞1点、優秀賞5点を決定しました。 皆さまのお手元に参考資料として、受賞作品の一覧を配布しておりますので、ご覧ください。 2月8日の土曜日に巻文化会館で行う表彰式には、受賞者の6名のうち4</p>

	<p>名から出席をいただける予定となっております。</p> <p>「丹野智文さん講演会&映画オレンジ・ランプ上映会」と「学びと体験でつながろうにしかんライフフェス田」の事業評価については、資料に記載のとおりです。</p> <p>「丹野智文さん講演会&映画オレンジ・ランプ上映会」については、申し込み期間を延長して受け付けているところですが、定員 300 名のところ、1 月 27 日時点で自治協議会委員の方から 3 名、一般の方から 96 名、合計で 99 名。現時点で 3 名増えており、合計 102 名となっております。</p> <p>明日まで受け付けることになっておりますが、引き続き皆さまから周知にご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>第 10 期への引継書の作成については、スケジュールを確認し、引継書に記載する内容について協議を行いました。保健福祉部会からは以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご意見・ご質問はありますか。</p> <p>標語の最終選考については、私も審査に加わらせていただきましたが、かなり僅差だったと思っています。</p> <p>若い方からも出していただいたのは、良かったのではないかと思います。当日、表彰をさせていただきたいと思ひますし、またこの入賞作品については、今後いろいろな場面で使っていただければと思ひております。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、まちづくり・産業部会大橋部会長、お願いします。</p>
<p>(大橋委員)</p>	<p>まちづくり・産業部会の大橋です。</p> <p>まちづくり・産業部会では、第 10 期への引継書の作成について、検討させていただきました。</p> <p>主な意見としては、この地域の中には、イベントを手伝っていない、手伝いたくないというような人もいるのではということ、そういった興味がない人にアプローチする方がいいのではという意見が出ました。</p> <p>また、SNS での周知は慣れていないという関係もあって、なかなか大変ではないかという意見も出ております。</p> <p>あと、マスコミにも PR をして、周知させた方がいいのではないかとこの意見も出ております。</p> <p>続いて、「学びと体験でつながろうにしかんライフフェス田」の事業評価の内容について協議を行いました。</p> <p>協議の結果、事務局案のとおり、他の部会で出た意見があれば、それを反映させるということで決まりました。</p> <p>「集まれ!地域のイベント自慢大会」、これは 2 月 8 日の土曜日に開催するイベントなのですが、この内容についても協議を行いました。</p> <p>各コミ協へ、当日の発表で使用するイベントの写真を送っていただきたいということ、発表者の報告をお願いするということを確認しました。</p> <p>参加者については、昨日現在で 32 組 46 名です。定員 300 名ですので、</p>

	<p>少し参加者数が少ないかなと思っております。受付期間を延長しまして、2月6日頃までに申し込みいただければ参加可能としておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>各コミ協からも5名程度動員をお願いしたいということで、コミ協から選出されている委員の皆さまについては、コミ協の方にお話いただきたいと思っております。まちづくり・産業部会からは以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご意見・ご質問はありますでしょうか。</p> <p>今ほど大橋部会長から、なかなか参加者数が少ないという話がありました。特にこの地域のイベント自慢大会については、にしかん応援隊のPRも兼ねているので、なかなか興味がある人、行ってみようかなと思う人は正直少ないのかなと思っておりますが、興味があってもなくても、来ていただかないことには、その地域がこういうことやっているとか、こういった課題があるということが分からないと思っております。</p> <p>この地域のこのイベントに行ってみようかなとか、そういったきっかけになっていかないと、この応援隊のしくみもだんだん先細りになっていくと思っております。この応援隊の良さを知ってもらい、地域の担い手不足を解消するための事業ですので、せめて自治協のメンバーは、ぜひお誘い合わせのうえ参加をお願いしたいと思います。また、大変恐縮ですが各コミ協からも動員ということで、よろしくお願い致します。</p> <p>例を出して申し訳ありませんが、巻コミ協については、この事業を研修会のようにして、その後に新年会という計画をしていただいておりますので、ぜひいろいろなかたちでご協力いただけますと大変ありがたいです。</p> <p>また、応援隊についても、1年半やってみて、また部会の方で、もうちょっとこうした方がいいのではないかとということも検討いただけるといいのかなと思っております。よろしくお願い致します。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>では、改めまして3つの部会の事業については、引き続き周知にご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。</p> <p>大橋部会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは最後に、広報部会田中部会長、お願いします。</p>
<p>(田中(久)委員)</p>	<p>広報部会の田中です。</p> <p>昨日、1月29日の水曜日に開催された第4回の部会では、自治協議会通信第22号について協議を行いました。</p> <p>おもて面は、公共交通の利用促進を目的として、広報部会委員がおすすめする区バス沿線のスポットを掲載することとしました。裏面は2月の提案事業の実績を掲載することとしました。</p> <p>次回の本会議で完成に近いかたちのものを配布したいと考えております。広報部会からは以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご意見・ご質問</p>

<p>(吉田委員)</p>	<p>はありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは議事(1)を終了します。</p> <p>続きまして、報告(1)「学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田 事業評価について」です。古島プロジェクトチームリーダーより報告をお願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>古島です。「学びと体験でつながろうにしかんライフフェス田」の業評価について報告します。資料2をご覧ください。</p> <p>昨年、10月19日に開催された3部会合同提案事業「学びと体験でつながろうにしかんライフフェス田」の事業評価について、前回の部会において皆さまから協議していただいたと思いますが、各部会で出た意見を集約した結果、資料2として配布している内容のとおりとなりました。</p> <p>各部会のテーマに沿って実施できたかという観点で、成果と課題を挙げるほか、イベント自体の周知・運営、およびマイクロバスの運行やキーワードラリーなどについて皆さまに評価をしていただいたものです。</p> <p>内容をご覧いただき、今後の提案事業や、皆さまの普段の活動に生かしていただければと思います。報告は以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございます。今ほどの報告について、なにかご意見・ご質問はありますでしょうか。</p> <p>それでは、事業評価についてはこの案のとおりでよろしいでしょうか。では、この内容で決定したいと思います。ありがとうございます。</p> <p>それでは報告(1)を終了します。</p> <p>次に、その他、西蒲区の課題、地域の情報などです。</p> <p>初めに、「ふうせん潟リンピック」について、池浦委員より説明をお願いします。</p>
<p>(池浦委員)</p>	<p>潟東コミ協の池浦です。</p> <p>2月16日に、「ふうせん潟リンピック」を行います。今年で2回目となります。今年、「ふうせん潟リンピック」のあとに、チラシの裏面にある「にしかんマルシェ」を開催します。</p> <p>「ふうせん潟リンピック」は午前9時から12時に、潟東地域コミュニティセンターのアリーナで行われます。地域の皆さまが親交を深める大切な機会であった潟東親善運動会が行われなくなって、何年か経過し、それに代わるものとして、昨年、「ふうせん潟リンピック」が誕生しました。</p> <p>参加いただいた皆さまからはとても好評で、楽しかった、毎年開催して欲しいという声がたくさん寄せられました。</p> <p>記念すべき第1回には堀区長からもご参加いただき、盛り上げていただきました。</p> <p>参加費は100円。年齢・お住まいの地域に関わらず、どなたでも参加いただけます。</p> <p>風船を使ったさまざまな競技は、小学生・中学生の皆さまにも考えていただいたものです。</p>

	<p>チラシの裏面になりますが、同日「にしかんマルシェ」も12時から午後4時まで開催されます。こちらは、中之口のYAKKOTE主催の事業で、おいしいもの・農産品・楽しい体験ができるブースが並びます。</p> <p>潟東のコラボ企画としまして、2月2日の日曜日、巨大バルーン製作のワークショップも行います。「ふうせん潟リンピック」当日には、中に入って楽しむ体験もあります。</p> <p>「ふうせん潟リンピック」「にしかんマルシェ」、どちらも屋内のイベントとなっておりますので、お天気に関わらずお楽しみいただけます。皆さまからご来場のお声がけを、よろしくお願ひします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご質問はありませんでしょうか。</p> <p>ぜひ、多くの方からご参加いただければと思います。よろしくお願ひします。ありがとうございました。</p> <p>もう1点、私からです。まだチラシがないのですが、現在、西蒲区内の小学生を対象に「にしかんじゃんけん大会」をやっており、じゃんけん大会実行委員会を作り、現在57人で運営をしております。</p> <p>昼休みの時間に各学校に伺って、クラス別のチャンピオンを決めていまして、3月1日の土曜日、午後から「西蒲区感謝の集い」があるのですが、午前中に「にしかんじゃんけん大会」学年別チャンピオン決勝大会というものを行います。</p> <p>こちらは新潟市との共催ということで、堀区長から大会会長に就任していただきました。</p> <p>のちほどチラシ等が配布されると思いますが、どなたでも見に来ていただいで大丈夫です。</p> <p>現在、750人の子どもたちが参加しております。西蒲区はだいたい小学生が2,100人いますので、1,000人以上は参加するのかなというふうに思っております。</p> <p>1時間半ぐらいの大会で、1回も負けていないグランドチャンピオンも決める予定になっていきますので、ぜひ、よろしくお願ひします。以上です。</p> <p>続きまして、前回、渡辺忠矢委員より、自治協のあり方について発言がございました。</p> <p>前は時間がないということで、1月に意見交換をすとお話をさせていただいたと思います。今日は皆さまと意見交換をしたいと思ひますので、また前回欠席された方もいらっしやいますので、渡辺忠矢委員から再度説明をお願ひします。</p>
<p>(渡辺(忠)委員)</p>	<p>渡辺です。12月19日の本会議にて、自治協のあり方ということで、意見をさせてもらいました。</p> <p>これについて、今日、意見交換の場を設けていただき、ありがとうございます。</p> <p>今日は長くならないように、キーになることを3つだけ話したいと思ひ</p>

ます。その前に、前回発言した内容は机の上に配られていると思いますが、これについても簡単にここで申し述べます。12月19日に簡単に説明したものです。

人それぞれに関心ごとや感性が違いますし、環境により、ものの見方や考え方はさまざまです。

しかし、その多様性を交通整理しながら、ある程度のまとまりを形成していくことが大事で、時間はかかるけれども話し合いが必要なのです。

分からないことは質問してもらいたいと考えています。

これから補足説明を再読します。私が言い続けていることは、自治協の委員として、私たちが考えなければならないものはなにかを、新潟市自治協議会運営指針及びコミュニティ協議会の指針などを基に議論をする場も欲しいということなのです。

地域の活性化というと、抽象的なくくりの基になる課題です。

出身母体がさまざまで、年代層も広い委員30人が常に1つのことに向かうことは無理があります。自治協議会の運営を、このようにしてみることはどうかというものが、その以下のことです。

まず、委員同士のコミュニケーションをできるだけ早く深めるべく、会議の座席はその都度ばらばらにして、開始の15分か20分は隣の人との情報交換時間にする。人に関心を持つことはコミュニケーションの第一歩になります。

イベントに向かうこととは分けてじっくり話し合いをすることも必要でしょう。

テーマごとに部会を少し分けて話し合い、内容は次回報告し、メンバーに共有すると良いと思います。

新潟市からの報告や、自治協の協議内容、選出母体に報告し、そこでのやり取りを持ち帰って、総会で報告しましょう。

委員全員からもっと積極的に発言してもらいましょう。それには、発言の材料を提供することが必要です。

自治協とコミ協の役割分担を考えましょう。自治協委員の方は、行政と市民をつなぐ仕事をしています。市議会議員の方ともっと意見交換をしましょう。

いい意味で、行政ばかり期待し過ぎないようにしましょう。

市の職員はもちろん、地域の面倒ばかり見ていただけませんが、市職員の方ともっといろいろ一緒に考えたいです。

そのために、まず、自治協委員の役割意識の学習をすること。それから公共交通問題・空き家問題・人口減少問題・公共施設の統廃合問題を真剣に考えて、アイデアを行政に提案できるようになりましょう。

上から押し付けられると、人は仕事をしませんが。現場の人間が考えて、コミュニティを説得しなければなりません。

それで、キーとなるものを3つ考えてきましたので、申し上げます。

	<p>1つ目はセミナー、2つ目はシンポジウム、3つ目はフォーラムです。</p> <p>セミナーは緊張感をもって学習すること、シンポジウムは課題に向かって意見交換をすること。フォーラムは目的を決定して行動するという事です。</p> <p>このセミナー・シンポジウム・フォーラム、これを大事にして、物事を進めていければと思います。すべてのイベントを否定しているわけではありません。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご質問・ご意見はありますか。</p> <p>小林副会長、お願いします。</p>
(小林(ア)委員)	<p>素晴らしい意見だと思います。全員がこういうふうな意見になれば、私たちは市議会議員になれます。</p> <p>1か月に半日、私たちは勉強させてもらっていると思います。それを持ち帰って、いざというとき、有事のとき、災害のとき、地区のリーダーとして戦えるように、私たちは勉強しているのではないかなと思います。</p> <p>それを2年周期でやって、地区の方と知り合い、協力して、人を集める。そういうものを私は2期4年やりました。ものすごく勉強になりました。</p> <p>皆さまのような素晴らしい人たちとも知り合えて、本当に私の人生の中で、誇りの1つです。</p> <p>そして、渡辺委員はすごく素晴らしい意見を持っていると思うのですが、それができる人はなかなかいないと思います。頑張っ欲しいのですが、2年です。全員で決めたものを1つずつやっていき、地区をよくしていくことが、今のところベストではないかなと私は思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。田中副会長、お願いします。</p>
(田中(弘)委員)	<p>ご苦労さまです。前回、渡辺委員から、時間がないということで、話が通らないという話がありましたけど、皆さま忙しい中で、制約がある中で、ある程度優先順位を決めて、時間配分をされているのかなというふうに思います。</p> <p>スムーズかつ活発な会議が進行していくためには、委員の皆さまの準備も大事になってくると思います。</p> <p>しかし、郵便サービスが最近変わってきまして、資料が届くのが月曜日になってしまうことが多いです。中2日で資料を検討するというものもなかなか難しいものがありますので、事務局の方でなるべく早く資料を届けていただくようにしていただくと助かりますけども、事務局も頑張っておりますけれども、委員もそれにはしっかり応えるべきだと思います。</p> <p>その意味では、渡辺委員がおっしゃる、運営指針を精読しましょうということは、そのとおりだと思います。</p> <p>委員には、質問事項へのその審議ということ、意見具申ということもありますが、組織の代表そして地区の代表として、意見の集約あるいは共有、こ</p>

	<p>ういう役割がありますので、これもきっちり果たしていただくことが重要だと思います。</p> <p>そして 9 期も残り少ない状態ではありますが、これまでの自らの活動をきちっと総括をしていただいて、引き続き委員をされる方はそれに生かしていただきたいと思いますし、9 期で区切るという方は、後任の方にそのあたりをしっかりと引継ぎしていただいて、スムーズで活発な議論をしていくということに努めていただきたいと思います。</p>
議長 (吉田会長)	ほかにいかがでしょうか。石田委員、お願いします。
(石田委員)	<p>渡辺委員にお聞きしますが、今言われたものは、コミ協、市の職員、市議会議員、そういう方たちとわれわれが議論しながら行政に進言できるようにしていこうというようなこと言われていると思うのですが、そのわれわれに対してもっと勉強せよと言っているのでしょうか。</p> <p>私は、自治協というものは地域の課題を解決することが仕事かなと思うのです。地域に入って、グループワークをしながら、地域のどこが問題なのだろう、どこに課題あるのだろうと探しながら、地域の課題を解決していく。これがわれわれ一人ひとりに任せられた委員の仕事かなと思っています。</p> <p>それでわれわれが勉強不足だということは、もっと勉強してほしいということなのではないでしょうか。</p>
議長 (吉田会長)	渡辺委員、いかがでしょうか。
(渡辺 (忠) 委員)	<p>まったくそのとおりです。やはり私たちが勉強をして、ブラッシュアップしていかないと、日頃動いている話題についていけないことがあると思います。</p> <p>例えば人口減少問題。それから空き家の問題。いろいろな問題がこの会議に出ますが、その先に進まないのです。</p> <p>私は自治協とコミ協の仕事は分けた方がいいというふうに言っているわけですが、その自治協で考えることと、コミ協が具体的に行動することが別なのです。</p> <p>例えば人口問題。それから公共交通問題。それから空き家の問題ですか。市議会議員の方がおいでになってここで会議をやった際に、お互いに発言して終わってしまったのです。発言した後に掘り下げるのであればそれからやればいいと思ったのだけど、まったくその後その続きはなかったのです。ですので、市議の方からもつつこんだ話がもらえませんでした。</p> <p>まず、行政の人たちは本当に必死に考えていると思うのですよ。考えているのだけど、なかなかすぐに市民のところを下ろせないようなこともあるのだと思うのです。</p> <p>だから自治協議会は市の附属機関ですから、そういうことも考えて、行政とも一生懸命考えていく組織になると思います。</p>

	<p>それで、先ほどから小林副会長、田中副会長から話がありましたが、9期が終わると、自治協議会が発足してから18年経つのです。そして、いつも会期が終わると振り返りをやります。</p> <p>毎年なにかで評価やっていますが、あまり内容が進歩していないのです。内容はなにが問題になるかという、自治協の認知度が低いということ。それから住民の意見・ニーズの把握方法が分からないこと。これは自治協8区の課題となっていて、全部プリントされて配られているのです。</p> <p>もう1回です。自治協の認知度が低いこと。それから住民の意見・ニーズの把握方法が分からないこと。自治協の委員が、把握のしかたが分からないと言っているのです。</p> <p>そして、地域課題の解決に向けた検討や話し合いの技術が不足している。これも委員が言っているのです。</p> <p>それで委員としてのスキルアップが足りない。相応の知識・思考力が必要である。これを委員が反省として言っているのです。こういうことが、2年ごとの振り返りの中で出てくるわけです。</p> <p>そうすると、私がこの前も言ったように、4月になるとすべて忘れるのです。振り返りは大事です。こうしたい、こうした方がいいというものが出てくるのだけでも、それをやはりもう少し掘り下げようということが必要だろうと思います。</p> <p>以前、公共交通の問題について、ここで討論されました。私が「今日集まった中で、越後線に乗って来た人はいますか」と言ったらゼロでした。新潟交通のバスでここに来た人がいるかということも聞きましたが、またゼロだった。そういう時代なのです。</p> <p>公共交通問題は、病院に行きたいけどバスが来ない、子どもたちの通学に困る、買い物に不便だという意見が出ました。そういう中で、そこまでその次があつては公共交通問題とはどういう問題があるのかと考えれば、もう少し話が進むのですね。</p> <p>それで私が思うことは、不満だけ出しても絶対だめなのです。例えば今は人口減少で社会が縮んでいく。マイナスのことなのだけれども、この社会が縮んでいくということをイメージして、それに対応できるようなことを私らが考えた方がいいのです。</p> <p>それを行政は考えているのだろうけど、すぐには下ろしにくい、いろいろな事情もあると思うのです。</p> <p>そういうことを本当に考えるためには勉強しなければならないということが私の考えです。難しい哲学の勉強するわけでも、法律の勉強するわけでもありません。たとえば本を読んで、基本的にはこういう問題がそこにあるのだなというようなことはやはり勉強した方がいいと思うのです。そんなに難しいことではないのです。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>石田委員、いかがでしょうか。</p>

<p>(石田委員)</p>	<p>渡辺委員の言うことは、私にとっては理想に見えます。</p> <p>一人ひとり勉強して喫緊課題を出せという、その深さはいろいろあると思うのですが、みんな感じていることをそれなりに出してきていると思うのですが、上を見たらきりが無いと思うのです。</p> <p>確かに、毎日ただ平凡と過ごして、地域課題を見つけて意見を言われればそうなのかも知りませんが、それなりに自治協に出て議論しているときは、喫緊課題をみんな言っているのではないかと私は思います。</p> <p>これ以上まとまれと言っても、私はいろいろな方法はあると思うのですが、一般的に分らないと思うのです。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>質問でも、自分のご意見でも大丈夫です。田中委員、お願いします。</p>
<p>(田中(久)委員)</p>	<p>意見というよりは、提案なんですけど、確かに私もコミュニケーションは不足しているなと思います。ただ、前期に比べて、今期はすごく発言しやすい雰囲気にはなったなと思うので、少しずつ前進をしていると思います。</p> <p>ですが、2年間やった中で、ほとんどしゃべったことのない人が多いです。</p> <p>なので、ちょっと区分けをするというか、例えば女子だったら女子会でお茶会開いたりするとか、普段あまりしゃべらないような人と話す機会があって、私は雑談がすごく大事だと思っていて、雑談の中からすごくいろいろなヒントが出てくると思うのです。</p> <p>それでなにかそのような機会を、例えば女子だったら女子会とか、男性だったら飲み会とか、腹を割ってしゃべれるような場所を作ってもらえたら、少しは、いい案というか、やはりこの部分が活気づいてコミュニケーションを取れないと、地域に行っても取れないと思うのです。それでまたいろいろな人の地域の話聞いて、こういう課題いっしょだよねとか、そういうやり方あるのだよねというふうな気付きになると思うので、そういうコミュニケーションの機会があったらいいなという、これは1つの願いというか提案です。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。委員研修の時に、秋葉区自治協議会の中島会長が女子会とか言っていましたよね。</p> <p>あのようコミュニケーションを取ることは大事なかなと思いましたので、渡辺委員から出た情報交換タイムをやるというのは非常にいいことかなと思います。やろうと思えばあと2回できるので、情報交換タイムを次回やってもいいかなとちょっと思っていますが、来期の人たちでまた、前期の引継書を見ながら考えていただければと思います。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>
<p>(渡辺(忠)委員)</p>	<p>今の田中委員の話で少しだけ。</p> <p>先ほど申し上げましたが、30人が一斉に1つのことに向かうということはやはり無理があるのです。興味・関心もいろいろだし、だから例えば田中委員のおっしゃったように女子会をやるとか。私が考えたものは、テーマを5つか6つ決めて、私はこのテーマについて考えてみたいというような人た</p>

	<p>ちのグループを作って、3部会ではなくて、5つも6つも作って話し合いを するといいと思うのです。</p> <p>あと、例えば潟東なら潟東、岩室なら岩室の関係の人たちが集まって話し 合う。地域の問題だったら、そういう方法も1つだろうし、そのようなこと をしたらいいと思っております。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。小林正委員、お願いします。</p>
(小林(正)委員)	<p>先ほどの話の中で、コミュニティ協議会と自治協を分けた方がいいよう な発言があったのですが、それはどういう意味でしょうか。</p>
(渡辺(忠)委員)	<p>自治協の役割と、いわゆるコミュニティ協議会の役割は、私は違うのだろ うと思うのです。</p> <p>例えば西区は、自治協の提案事業でなにをしたかご存じの方もいらっし やると思いますが、2つ挙げたのですよ。</p> <p>1つは、5のつく日はごあいさつ運動。なにをやるかという、5のつく 日は、自治協の委員が内野駅に集まって、乗り降りする人に「今日は5のつ く日だからあいさつをしましょう」と言って紙を配って、それでのぼり旗を 立ててやるというものです。これはやって悪いことではないです。</p> <p>もう1つは、ごみを拾いましょうという運動。内野の町なかにあるごみ を、自治協の委員が先頭になって拾いましょうというものです。これも悪い ことではないのだけれども、いってみればそれはコミ協レベルであり、ある いは小学生の生徒会でやることだと私は思うのです。</p> <p>自治協はもう少しレベルの高いようなことをやるものだと思います。</p> <p>それから先般、秋葉区自治協議会の会長がおいでになった際に、非常に印 象に残ることがありました。</p> <p>1つは自治協とコミ協がうまく連絡が取れているということです。</p> <p>ところがこの自治協、私は巻のコミ協に入っていますが、連絡が取れてい るかという、残念ながら取れていません。</p> <p>もう1つ、これからはコミ協同士の連絡がうまくいくといいという話を していたのです。</p> <p>そういうことなので、今、小林委員がおっしゃるように、自治協がやるこ とと、コミ協が主体になってやることは分けてもいいのだろうと私は思う のです。</p> <p>コミ協がやることまで、自治協がイベントというようなかたちでやって も、これは大変なことだろうと思うのです。もっとほかにやることがある だろうと思い、申し上げました。</p>
(小林(正)委員)	<p>角田地区においては、コミ協が月1回の会議を設けて、この会議にあつ たことを私たちは報告していますし、その中で、コミ協の会長たちが意見 し、分からなくても質問してくるわけです。</p> <p>そういうふうに、コミュニティ協議会と自治協が一体になってやること が本当の地域おこしではないかと私は思っています。</p>

(渡辺(忠)委員)	素晴らしいと思います。そういうふうには指針にも書いてあるのです。書いてあるのだけれども、皆さまがこの2年間、この会議でやったことを出身母体に帰ってどれほど話をしたと思いますか。あまりしていないだろうと思うのです。角田は正しいと思います。
議長 (吉田会長)	巻コミ協も、会議になると石田委員が自治協の話をされています。各コミ協、皆さま話をされていますよね。 以前はなかったかと思いますが、今期に入って皆さまいろいろなかたちで、会長が出ているところも何名かいらっしゃいますし、それは連携していただいていると思います。いかがでしょうか。
(栞原委員)	連携しています。
議長 (吉田会長)	そうですね。 ほかにいかがでしょうか。唐澤委員、お願いします。
(唐澤委員)	賛同するところと疑問に残るところというものはいくつかあるのですが、勉強については、小学校に入学する子どもに算数できていないのではないとか、ひらがな書けないのではないかと言っていることと近いのかなと思います。勉強ができる人が入ってきて、資格がある人が1期2年、あるいは2期4年務めるものでもないと思いますし、選任された人たちが精一杯その場でやればよいと思いますので、そこのレベル上げというものはちょっと難しいのではないかと思います。 ただ、今ほどそのコミ協と自治協の事業を分けるとか、田中委員も言われたコミュニケーションをもっと取っていこうというものはまさにそのとおりだと同意します。 渡辺委員が言われていた、横のつながりを作ってしっかり意見交換をしながらやろうというものはそのとおりで、これは個人的な感覚で言うと、やはり自治協に参加して2年間やってきて感じるものが、この場で市のやってきたものに対して意見を述べる。そのために委員とコミュニケーションを取るといった中で、自治協としての事業をやらなければいけない。任期内で毎年ということで、それぞれの部会でなにかしらしなければいけないから、そのコミュニケーションをする時間というものが減っているのではないかなと。事業を行うためというものが多いのではないかなと思います。その点では自治協事業をやらないというわけにもいかないのかもしれないですけれども、それぞれの委員が事業をかたちにするために使っている時間を、もっと委員同士のコミュニケーションをしたり、出てきたテーマについてディスカッションをする時間にしていくことで、市の附属機関としての役割、各区に設けられた、意見を具申するような組織としては大事なのかなとは感じました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。 ほかにいかがでしょうか。上原委員、お願いします。
(上原委員)	上原です。先ほど小林委員が言われたコミ協と自治協議会との付き合い

方、それと秋葉区自治協議会の中島会長が言われていた自治協とコミ協の連携が大事だということ。私の地域では、月1回の会議で皆さまに議論内容や市役所からの報告等についてはしっかりとお伝えしています。

また、前回渡辺委員から配られたこの資料というか、自治協のあり方というものを読ませていただいて、今日もまたその内容を詳しく開きましたが、原点に返って考えましょう、それから自治協の役割を考えましょうと言っていたと思うのですが、取りようによっては、渡辺委員は勉強しているけど、ほかの委員はなにもしないではないかというような言い方をされているような感じがして、少し上から目線と感じました。

間違いなく、渡辺委員が言っている自治協のあり方というものは基本だとは思っていますし、大事だと思っていますが、一歩前進して、時代や環境の変化によっては柔軟な対応をしてもいいのではないかと考えています。それ以上に、委員一人ひとりがスキルアップをどのようにして考えていくか、いろいろな勉強会や研修会・講演会など通じて、さまざまな取り組みがあって多様な考え方を委員同士で共有するという方が大事ではないかと考えました。

それからイベントなのですが、私もお祭りに関しては座っているよりは動いた方が好きな人間なのですが、「にしかんライフフェス田」に関して言わせてもらおうと、かなりの時間をかけて計画してきたのですが、私もやっているうちに疲れてしまって、自分が楽しめなかったことが残念だと今考えています。主催者側が楽しくなければ参加される方も楽しくはないのではないかとこのように感じております。

あれだけ大きなイベントになったら、コミ協に頼んでそれをやっていただく方が、流れはスムーズなのではないかと思えます。コミ協も忙しくてなかなか大変ですし、全然お金がないので、それなりの経費を計上してやってもらうというやり方をすれば乗り切れるのではないかと思えます。

それ以上に、その時間の取りようで、自治協議会はやはり市の附属機関であることが大前提でありますので、区づくりやまちづくり計画、また、空き家問題、公共交通の問題など、委員がもっと地域に根ざした活動ができる方法を考える時間をより多くとった方がいいのではないかと考えます。

それからもう1つなのですが、先ほどの出身母体に帰って、議題や議論があったことなどを報告するパイプ役に徹するということに関してですが、これも自治協議会の条例などでうたわれているように、自治協委員は協働の要であるという役割を、根本的なことを考えて、今日あった議論や説明などを出身母体に帰って報告して、逆に皆さまからの意見を拾って、ここで協議できるというシステムを作っていただきたいと思えます。いちばんそれを感じたのが、令和5年度の市長とすまいるトークの際、新庁舎問題に触れたときに聞いていないとか、初耳だとか、そういう意見が出ました。それがやはり、今言ったパイプ役となって地元でその話ができ

	<p>ていなかったからこそ、あのようなことになったというふうに思いましたので、ぜひわれわれは地元とのパイプ役であることを共有しておきたいです。</p>
(渡辺(忠)委員)	はい。
議長 (吉田会長)	渡辺委員、お願いします。
(渡辺(忠)委員)	<p>とてもいいお話をありがとうございました。それから先ほど、上から目線で言っているとの話もありましたが、上から目線というのではなくて、いろいろ反省していたものがすべて記録に残っていますから、それを引き出して私は申し上げました。全部振り返りのシートに出ますので、見ていただければ今後のためになると思います。</p> <p>それで時間がないということを一いちばん最初に書いたのですが、時間がないのですよね。やはり優先順位を考えて、割り振りを考えますよね。大事な問題があったら、ほかのところを縮めるとか、あるいはほかの日にするとかですね。秋葉の自治協委員がほかにも時間を作って会議をやっていて、その報告もあったり、いろいろ工夫のしようはあると思うのです。</p> <p>それと1つ、私の言うことは理想だけどそのようなことはできないという話もありました。そうではなくて、理想は正しくてそれを追い求めなくてはと思いますけどね。やってられないというものはそれで終わりなのですよね。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかにかがででしょうか。</p> <p>柳原委員、お願いします。</p>
(柳原委員)	<p>お疲れさまです。渡辺委員のその理想、私もそれができたらすごいなと思います。</p> <p>それでなぜなら、渡辺委員が言うその自治協のあり方だとか、その理想というもので、もしそのような団体があつたら西蒲区でなくていいと思うのです。国の内閣府の脇とかで活動する団体でいいと思うのです。</p> <p>正直、さっき石田委員がおっしゃったとおり、私たちに空き家問題・人口減少問題で、その先には例えば環境問題と、まんべんなく勉強してくるのであれば、別にこの自治協でその議論をする必要はないと思いますし、空き家問題、不在者・地主の問題などは、もうとうの昔に解決していると思います。今、残っているものはやはり法律が邪魔しているのです。</p> <p>なので、渡辺委員が言う理想が叶うなら、人口減少問題と空き家問題なんかは、もう数年前に解決しているような運びだと思うのです。</p> <p>だから、今ここにおられる方たちは、その地域、西蒲区をよくしようとか、子どもたちが一度出て行っても戻ってきやすい地元を作ろうとか、子どもたちが地元で自信を持てる地域を作ろう、地域の担い手を作ろうということで、この会があると思うのです。</p> <p>一人ひとり同じレベルで勉強していくとか、学習したうえでここに座る</p>

	<p>ということは、唐澤委員も言ったとおりちょっと難しいのかなと思っております。以上です。</p>
(渡辺(忠)委員)	<p>はい。</p>
議長 (吉田会長)	<p>渡辺委員、お願いします。</p>
(渡辺(忠)委員)	<p>先ほども申し上げましたが、やはりグループをもう少し小分けにして、自分は公共交通問題をやってみたいとか、あるいは空き家の問題をやってみたいとか、分けてから勉強すればいいのです。</p> <p>だから、半年や1年、勉強ばかりしてもいいと思うのです。</p> <p>それで、今柳原委員がおっしゃった空き家問題がある程度解決しているというものは、違うと思います。</p>
(柳原委員)	<p>もし渡辺委員の理想が叶っていたら、もう空き家問題は出てきていませんということを伝えたかったのです。</p>
(渡辺(忠)委員)	<p>分かりました。そういう問題がずっと継続してなかなか進展しないのは、では、どうすればそれは良くなっていくかということをみんなが考えればいいのですよね。</p>
(柳原委員)	<p>いいですか。</p>
議長 (吉田会長)	<p>柳原委員、お願いします。</p>
(柳原委員)	<p>では逆に、この約30名で考えて結論が出て、それを実行することはできるのですか。</p>
(渡辺(忠)委員)	<p>実行しなければ意味がないです。</p> <p>だから先ほど私はフォーラムと言ったのです。セミナーで勉強しますよね。本を読んだりとか、情報もあって勉強をするのです。ところが、勉強ばかりしていても先へ進まないから、その次がシンポジウムです。自分の得た知識を諮って、意見交換をする。意見交換は、先ほども言ったように、みんないろいろなことを考えるけども、ある程度の交通整理をしてまとまりをつけないければ社会は動いていきませんから、まとまりをつけたうえでこのフォーラムです。フォーラムというものはそういうふうに決めたこと、方向性が見えたことを行動に移すことなのです。この3段階でやっていくしかないです。</p> <p>それは常に100パーセントなんていかないことは、私も74年生きてきてよく分かるのだけれども、そういう理想を持って動かなければいけません。「そんなものどうでもいいや」というような話をしても聞いていないとか。考えないということは良くないと思いますけどね。</p>
(柳原委員)	<p>いいですか。</p>
議長 (吉田会長)	<p>柳原委員、どうぞ。</p>
(柳原委員)	<p>では、自治協議会で話し合ったことについて執行力を持たなければ意味</p>

	がないということですか。
(渡辺 (忠) 委員)	<p>話し合ったらそこでいろいろなものが出てきます。それは先ほども申し上げましたが、ひとまずイベントも大事だけれども、アイデアを出すことも大事だと思うのです。</p> <p>それで、行政側がもうそれこそ必死になって朝から晩まで考えてもらっていると思うのですが、そこへ私たちも乗って、私たちがしなければならないこと、こういう問題があるから私は自治協の委員としてコミュニティにもいろいろな話をしてそういうものを作るとか、そういうふうにして地域を作っていくということが必要のような気がします。</p> <p>このようなことなんかできないのです。それでそれも分かるのです。それも試行錯誤だと思えます。</p>
議長 (吉田会長)	よろしいでしょうか。
(柳原委員)	はい。
議長 (吉田会長)	ほかにいかがでしょうか。石田委員、お願いします。
(石田委員)	<p>セミナーは勉強、シンポジウムは意見交換、フォーラムは目的に向かって行動していく、達成していくという段取りなのですが、まずセミナーといものはなにを勉強するのでしょうか。みんな意見が違うと思うのですよね。みんな意見が違うのになにを勉強するのか。まずそこが1つ解決しなければだめだと思います。</p>
(渡辺 (忠) 委員)	だから目標別にテーマを分けるのです。
(石田委員)	<p>分かれたものが、今は総務部会、まちづくり・産業部会、保健福祉部会の3つなのです。ここでそれぞれの目標を持って、勉強して議論しながら18年間やってきました。それなりにやってきたし、唐澤委員の言うように算数が得意な人もいれば不得意な人もいるし、そういう中でみんなやってきたのです。</p> <p>これ以上勉強するべきということとは、なにを勉強してどうするのか、なかなか難しい問題だと思うのです。</p> <p>渡辺委員も非常にいいこと言っていて、だからみんな「議論しようよ」ということだと思うのです。総務部会はなにに向かって議論していくのか、まちづくり・産業部会はなにに向かって議論するのか、保健福祉部会はなにに向かって議論するのかと。目標を議論しながら、勉強しながら、2年間繰り返していくということではないのかなというふうに思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。鈴木委員、お願いします。</p>
(鈴木委員)	とりあえず自分のことと言うと、約2年前、初めて自治協に参加させてもらって、正直ノープランで出席しました。

	<p>こういうかたちの場に座ってみて最初、怖いなど。前にいる人たち怖いなというものがいちばんの感覚だったのですが、でも今、委員の皆さまとも間違いなく全員必ず一人ひとりしゃべることはありますし、役所の方々とも顔を知ることができて、困ったことがあれば直接お話をしたりすることもできるようになりました。</p> <p>そうやって考えると、いろいろな地域の人とのパイプ、つながりというものが持てたことが、素晴らしい集まりだなというふうに思っておりますし、それこそそうやって飲み会も含めて、いろいろな地域の人と飲みながら話をして、各地域のこういうことをやっているよとか、困ったことがあればこういうこともあるよとか、このような事業起こしましたとか、そういうものを聞いているだけでも僕は自分の学びに充分なっているのですね。</p> <p>だから自分の地域でできていないことをよそがやっている、「ああ、うらやましいな」というものもたくさんありましたし、こうやって議案の中で、行政に対する内容だとか、こういうことがあるのだなというものを知れば知るほど、やはり日常から関心を持って自分も考えていかないといけないのだなという、意識づけをさせてくれる場所でもあるのですね。</p> <p>だから今まで関心がなかったものは、今はもっともっとうち増えているわけでありまして。そういう点で考えていくと、委員の資質とか、そういう部分で言えば無理やり同じレベルの人たちを合わせるということではなくて、みんなそれぞれ違う意識レベルはあるのだけれども、いっしょになって和をとりもっていくから、区の中の間人間関係も良くなれば意思疎通もできるようになって、相乗効果で良くなっていくという、そういう感覚でいいのではないかと思います。それこそ渡辺委員が「こだわりじいじ」の野菜塾とかをやっているように、それぞれお互いに頑張っているところがあるので、今前に立っているいろいろ矢面に立ってつらいところも大変な気持ちもあるのだらうと思いますけれども、そう思ってくれる人がいるだけで、ときどき姿勢を正さなければいけないのだなと気付かせてもらえると思います。そういうところも含めて、みんなで仲良く和をもってやっていくという、そのぐらいの感覚で、任期2年ですから、そのつど出てきたもの同士でなにができるかというところの話し合いになっていくと思うので、やはり最初からこうあるべきという段階に持っていくのは難しい部分もあると思うので、その時の良さを発揮していくという点があるべきだと思います。</p> <p>忘れてはいけない部分というものは、僕らもしっかり受け止めるようにしたいと思っています。</p>
(渡辺 (忠) 委員)	では、時間ないので最後に。
議長 (吉田会長)	はい。
(渡辺 (忠) 委員)	なかなかかみ合わないのは今からあるわけではなくて、最初からそうやって、切ないところもあるのですが、いちばん最初、2年前の会議にその協

	<p>議してもらえないので出したものと、私が書いたものは、「縮小社会」ということだったのでですね。</p> <p>社会が縮小していくのだと。それに本当にマイナスの面を自分たちのことだと思って取り組んでいかなければいけないという、出したのだけでも、結果的には相手にされなかったわけです。</p> <p>だからそういうことも、私がいちばん書いたようにある程度つぶされてきたわけですね。それで今回この意見交換していただいたこともありがたいと思っているのですが、その前段階でいろいろなことがありましたので、そういうふうと思うわけです。</p> <p>だから、先ほども言ったように30人が1つのことをやることはできないのですよ。難しいのです。だからグループ分けをして自分の得意分野とか、関心のある分野、勉強したい分野を分けて、まずは勉強会からスタートすればいいのです。そうすると、2年間やった時に、自分のためになることが出てくるのだらうと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。岩崎委員。</p>
(岩崎委員)	<p>岩崎です。いろいろ、参考になる話を聞かせていただきました。渡辺委員から縮小社会というものをいちばん最初に提起されていたのを覚えています。</p> <p>確かに子どもが生まれず、高齢化もどんどん進んでくる、税収も上がらない、大変な時代だと思っていますが、それを自治協の場で議論するにしても、具体的な解決策はなかなか出てこないと思うのです。それはやはり大きく見れば政治の問題であって、それを変えていくものはやはり選挙というか、それしか私はないと思っています。</p> <p>あと、いろいろ意見を出されましたけども、やはり時間ですね。やはりそこは絞って、あるいは分散してそういった議論を深めていくということは私も賛成しております。</p>
(渡辺(忠)委員)	<p>ではもう1つだけ、最後に言ってもいいですか。</p>
議長 (吉田会長)	<p>どうぞ。</p>
(渡辺(忠)委員)	<p>難しい問題を解決するのは、私は上の方の政治ではないと思います。いろいろなことを言うけれども、その主体的にはやはり私らがこういうところでやるしかないのだらうと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ほかによろしいでしょうか。</p> <p>皆さま、いろいろなご意見ありがとうございました。また、渡辺委員も、自治協のあり方についてのご意見大変ありがとうございました。</p> <p>1点だけ、資料のいちばん下のところに、説明がないままスタートしましたと書いてあるのですが、実際は委員研修をしっかりとやっています。それは議事録を見ていただくと分かります。令和5年4月14日の金曜日、</p>

	<p>新潟テルサ。令和5年4月18日の火曜日、江南区文化会館。新潟テルサはオンラインでも参加可能でしたので、都合のいい日の新任研修にご参加くださいということでやっていました。</p> <p>西蒲区の場合は18人、オンラインを含めて出ております。また、独自の研修を令和5年4月27日の本会議の前に、オリエンテーションとして実施しております。こちらについては、委員の自己紹介と、区自治協議会の概要についてということで、部会の紹介などをしております。初めて見てもなかなかイメージがつかない方が多かったかもしれませんが、そういったかたちで説明はさせていただいています。令和5年9月5日には黒崎市民会館で全委員を対象に、委員研修ということで、区自治協の振り返りとこれからをテーマに丸田教授から研修をさせていただいておりますので、そこだけ補足させていただきます。</p> <p>あともう一つ、1人1分でなにが伝わるでしょうかということで、これはたぶん市長か副市長が来られたときだったと思うのですが、この2年目については、部会で絞ってご意見をいただきましたが、せっかくこういう場に出ているのだったら、一言でもいいから市長なり副市長に、皆さまの声を届けたいということがいちばんの希望であって、市長、副市長の限られた公務の時間の中で皆さまから発言をしていただくというかたちになると、1人1分となってしまいました。それについては、大変申し訳なく思っておりますが、時間が長い時でも1分でというかたちをとったこともあります。一応そのようなかたちでよろしく願います。</p> <p>あと今日、渡辺委員から出た意見、また、皆さまから出た意見について、自治協がより良い場になっていけるように、事務局の方でまたまとめさせていただいて、これも含めて次年度に引き継いでいただければと思います。先ほど渡辺委員が言われた情報交換タイムとか、もしあと2回中のできるのであればぜひやってみたいと思います。大変ありがとうございました。</p>
(渡辺 (忠) 委員)	<p>今の話について、運営指針も渡されました。新潟テルサの説明会にも行きました。だけどその内容について、こういうふうに進めていくのですという話はほとんどありませんでした。だから皆さまにも記憶に残っていないでしょう。</p> <p>結局そういうふうに、伝わらなければ、言い方を変えればアリバイ説明会になってしまうのです。伝わっていないなと思ったら、やはり伝えようとするという作業を、面倒でもする必要があると思うのです。</p> <p>総務部会でこれについて質問したのですが、それもこういうふうに決まっているのだよと言われ、私は新人で分からないから「ああ、そう」と言うしかない。そういうことを来期、また新人の方が何人来るか分かりませんが、新人の方に、この会はこういうふうに進めていくのだということを丁寧に説明していかないと、みんななんだろうと感じると思うのです。皆さまは2年前委員になったとき、そう思いませんでしたか。私が書いたも</p>

	<p>のは、単純にアリバイ的に説明したからいいのではないのでなくて、伝わったかどうかということの問題にしたかったのです。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。皆さま議論いただきありがとうございました。</p> <p>それでは、このほかご発言の申し出はございませんでしたが、西蒲区自治協議会で議論したい課題、あるいは皆さまにお伝えしたい行事などがありましたらご発言をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは小林副会長から最後あいさつをいただいて、進行を事務局に戻したいと思います。</p>
<p>(小林(ア)委員)</p>	<p>皆さま大変ご苦労さまでした。いろいろな意見が出てとても楽しかったです。皆さまの声を久しぶりに聞いたなと思いましたが、私も3月で終わる予定であります。今日はいろいろな意見を聞いて、皆さまのいろいろな理想はあると思うのですが、理想に向かって突き進むようなことはなかなかできないですね。私生活もあるし、それで食べているわけでもないの。</p> <p>ただ、気持ちのみで走っている皆さまだと思いますので、これからも頑張ってください。よろしくお願いします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局の方にお返しします。</p>
<p>事務局 (藤田補佐)</p>	<p>ありがとうございました。最後に事務局から次回の西蒲区自治協議会についてご連絡します。次回の西蒲区自治協議会については、2月27日木曜日の午後に、本日と同じく巻地区公民館で開催を予定しております。</p> <p>ご案内については、のちほど改めて送付させていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>このあと、各常任委員会を開催します。会場は、総務部会が2階の実習室、保健福祉部会が2階の研修室。まちづくり・産業部会が3階の視聴覚室となります。ご移動をお願いします。</p> <p>なお、常任部会の開催時間につきましてはおおむね10分後の午後3時10分を予定しております。</p> <p>お手数ですが、お手元の名立てを持ってご移動をお願いします。</p> <p>それでは以上をもちまして、令和6年度第9回西蒲区自治協議会を終了します。お忙しいところ大変ありがとうございました。</p>